



かわ むら きよく ほう
筑前琵琶奏者 川村 旭芳

<http://www.kyokuho-biwagaku.jp/>

神戸市出身在住。

筑前琵琶日本旭会 総師範 故二代柴田旭堂師のファンだった母の勧めで八歳の頃、師に入門。

独奏の弾き語りを活動の中心に据えつつ、他分野との共演にも力を注ぐ。

古典の琵琶曲を継承しながら、新作の創作にも取り組み、阪神・淡路大震災の追悼曲はじめ、小浜市に伝わる韓国船遭難救護の史実、宇和島に伝わる平家の落武者伝説、《新聞の父》と呼ばれるジョセフ・ヒコの一代記ほか、母 川村素子の作詞による作品も発表。

琵琶語りと朗読や合奏を組み合わせた《音楽劇》の創作・上演をライフワークとする。

1998年～2010年まで、和楽器オーケストラ 邦楽合奏団「鼎」(KANAE)に所属。現代曲においては薩摩琵琶も演奏し、関西の楽団や音楽大学の公演への助演も数多い。

箏・尺八・胡弓などの演奏家四人による和楽器ユニット「おとぎ」の代表を務め、2014年、結成十周年記念コンサートを奈良にて開催、「組曲 古事記」(作曲 木場大輔／歌作詞・節付 川村旭芳)を発表。また、八千代座(熊本)、内子座(愛媛)ほか、全国の芝居小屋での公演も行う。

現在、筑前琵琶日本旭会 師範。門人会「筑前琵琶川村旭芳会」主宰。

NHK-FM「邦楽のひととき」出演。

2011年、CD『源平一ノ谷合戦』および『川村旭芳作品集I～母娘合作集～』二枚同時発売。

